



子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2014年2月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
<http://www.kodomono-mori.net> mailto:info@kodomono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方に、活動情報を
お送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今月は、日本列島が記録的な大雪に見舞われました。
雪害に遭われた地域の方々には心よりお見舞い申し上げます。
写真は、「エコプロダクツ2013」のワークショップ参加者によって植えられ、
春を待っているどんぐりたちです。

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」2014年度上半期活動計画(案)
 2. JP子どもの森づくり運動活動レポート
 3. 普及・広報イベントレポート
- どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編⑭～

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期のは)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 :NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 :日本郵政グループ
- ・後援/協力 :(社)全国私立保育園連盟 (順不同) (社)国土緑化推進機構 全国森林インストラクター会 NPO法人MORIMORI ネットワーク (株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部
- ・ (社)大谷保育協会 NPO法人C・C・C 富良野自然塾 NPO法人自然体験活動推進協議会 (社)日本オート・キャンプ協会 保育環境研究所ギビングツリー



1. 「子どもの森づくり運動」2014年度上半期活動計画(案)

先月号で提案しました2014年年間活動計画案を踏まえ、①各実施園における活動計画作成の参考となる活動事例を提供すること ②活動プログラムのバリエーションを増やし、活動と子どもたちの接触する機会を高めること ③それぞれの実施園の事情に対応する多様な活動の実現に役立つことを目的に、より具体的な活動項目を盛り込んだ2014年度上半期の活動計画案を作成しました。ご参照いただければ幸いです。

なお、活動計画案において使用している表現の内容は以下のとおりです。

- *「地域での活動」⇒各実施園もよりの森や広場で拾ったどんぐりを地域の森や広場、園庭に植える活動
- *「東北復興GW」⇒「子どもの森づくり運動」東北復興グリーンウェイブにおける活動

＜2014年度活動計画案＞		
	主な活動項目	普及・広報イベント
4月	<ul style="list-style-type: none">○地域での活動① 発芽した苗木をおひろめする活動開始 ⇒通年○地域での活動② 植えたどんぐりの成長を見に行く活動開始 ⇒通年	<ul style="list-style-type: none">○「ロハスデザイン大賞2014」エントリー○「アウトドアディジャパン2014」出展<ul style="list-style-type: none">・日時:2014年4月5日(土)、6日(日)・会場:代々木公園
5月	<ul style="list-style-type: none">○「東北復興GW」 苗木を見送る活動 ⇒5/7(水)～5/17(土)○「東北復興GW」 被災地に苗木を植える活動⇒5/22(木)	<ul style="list-style-type: none">○第24回「みどりの感謝祭」併催行事 「みどりとふれあうフェスティバル」出展(予定)<ul style="list-style-type: none">・日時:2014年5月10日(土)、11日(日)・会場:日比谷公園○「東北復興GW」植樹会<ul style="list-style-type: none">・日時:2014年5月22日(木)・会場:岩手県山田町*活動テーマソング発表
6月		<ul style="list-style-type: none">○全国私立保育園「全国大会」 植樹体験ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・日時:2014年6月19日(木)・会場:岩手県山田町
7月	<ul style="list-style-type: none">○地域での活動 植樹した苗木を見守る活動⇒夏草刈り、他○「東北復興GW」 植樹した苗木を見守る活動⇒夏草刈り、他	
8月	<ul style="list-style-type: none">○「子どもの森づくり運動」オリジナル 森とふれあう体験プログラム「森の楽園」(仮称) ⇒シミュレーション開催	
9月		

2. JP子どもの森づくり運動活動レポート

■広島県 保育所「みのり愛児園」東北復興グリーンウェイブの活動 ・日時:2013年11月 ・場所:園庭

今年も東北の被災地から届いたどんぐりを子どもたちがプランターに植えて、これから一生懸命お世話します。



3. 普及・広報イベントレポート

■JP子どもの森づくり運動「みんなで体験活動ワールド」出展レポート

・日時:2014年2月1日(土)、2日(日) ・会場:東京・池袋「サンシャインシティ」展示ホールA-1

子どもの健全育成を目的とした様々なCSR活動に取り組む企業が集う「とびだせキッズ! みんなで体験活動ワールド」(主催:文部科学省)に、「子どもの森づくり運動」特別ご協賛企業 日本郵政グループさんが出展され、「子森ネット」との協働でワークショップを実施しました。ワークショップは、間伐材を使用したはがきに絵を描き、切手を貼り、ブース内のレプリカポストに差し入れる「森のはがきづくり」と、自然木のパーツを組み合わせて自由に動物や昆虫を作る「ウッドクラフト」の二つの体験講座です。ワークショップは、両日共本当にたくさんの参加者でにぎわい、スタッフは対応に追われていました。(＊「森のはがきづくり」で使用した切手は、日本郵政グループ様のご協賛金の中から提供しました。)



「森のはがきづくり」実施風景



「ウッドクラフト」実施風景

3. 事務局からのお知らせ

1)「植えた苗木の成長を見に行く活動」のご提案

○皆様と共に活動を継続しております「子どもの森づくり運動」は、今年で7年目を迎えます。

2008年に参加された実施園の多くが2010年に第一回目の植樹活動を実施し、植樹後3年を経過した苗木は大きく育つことでしょう。自然界での活動ですので、あるいは枯れてしまった苗木もあるかも知れません。

○苗木は、活動に携わった子どもたちの“大きくなあ～れ！”という願い、そしてそんな子どもたちを見守る保護者や幼稚園・保育園の先生たちの『子どもたちと共に健やかに育て』の願いを込めて植えられ、見守られてまいりました。だから植樹した苗木の成長は、それぞれの実施園における「子どもの森づくり運動」の活動の成果であり、子どもたちの“育ち”的スケールです。

そこで、今年の活動として、「植えた苗木を見に行き、その成長をみんなで確認する活動」を提案します。今後、苗木の成長は定期的に確認することを考えたとき、例えばスケールとなる棒などを利用し、カラーテープ等で毎年の成長を記録する方法などもお奨めです。

○活動の風景は、是非ホームページにてご紹介させていただきたいと思いますので、写真やレポートをお送り下さい。



2)ホームページまで活動情報やレポートをお送り下さい。

事務局ではホームページを通じて皆様の活動を積極的に発信させていただきたいと思っております。活動情報やレポート、写真をお送り下さい。森づくり活動に限らず、卒園式の風景など園としての活動であればなんでも結構です。 *送信先:info@kodomono-mori.net



●どんぐり博士の育苗講座 2014~基本編⑭~

前回の講座で、苗を植樹地に植樹する手順を説明しました。今回は苗の根付きをより良くし、植え付け後の枯死を減らす幾つかの工夫を紹介します。

* どんぐり博士: 河内和男(森林インストラクター)



一般的な植樹では本数を多めに植樹するので、前回説明した植樹作業で何ら問題はありません。しかし、植樹本数が少なくて全てを枯らしたくない場合や、植樹地の土壌が植物の生育に向かず植樹後の苗の生育に不安がある場合、苗の生存率を高める工夫が必要になります。その場合の代表的な方法を記します。

①植樹用に掘った穴の下部に赤玉土を入れる

赤玉土とは、直徑数mm～1cm程度の粒状に固まった赤土で、根に有用な隙間を造り根の生長を促進し根付きを良くします。

②土壌が悪い場合、埋め戻しの土に培養土等の肥沃で良質な土を使う

悪い土壌の例は、旧河川敷や工事残土埋め立て地などです。

このような場所は、礫(石ころ)を多量に含み、穴を掘るのも大変ですが、できるだけ大きな穴を掘り、良い土を多く使うことが肝心です。最後に、数年前、埼玉県内の森林組合さんの植樹で拝見した、乾燥を防ぎ雑草の繁茂を抑える工夫を紹介します。苗から30～40cmの範囲に、バーク堆肥を敷き詰めていました。バーク堆肥はスギやヒノキの樹皮から造った堆肥状のものです。植樹地の条件を見て、工夫が必要な場合の参考にしてください。